

令和4年松本市議会12月定例会
市長閉会あいさつ

[4.12.15 (木) PM1:30]

閉会に当たり、発言の機会をいただきましたので、一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆様には、18日間に及ぶ会期中、熱心にご審議を賜り、それぞれの議案を原案どおり決定していただいたことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

議員の皆様からいただきました、市政各般にわたるご意見ご提言につきましては、今後、十分研究・検討してまいります。

感染拡大から3年近くが経過する新型コロナに対しては、重症化リスクが低いオミクロン株の特性を踏まえ、秋以降、重症化リスクの高い方や療養中に症状が悪化した方に確実に医療を提供することを最優先とする方針に転換し、全数報告の見直しや療養期間の短縮といった緩和措置を取りました。

現在は、陽性者の大半が軽症である一方で、高齢者の感染が増え、冬場に向けて医療現場への負荷が高まっています。発症を予防し重症化を防ぐオミクロン対応のワクチンの接種率は、65歳以上が60%を超えるものの、全体ではおよそ40%にとどまっています。今年の冬はインフルエンザとの同時流行も懸念されることから、市民に対してワクチンの接種を引き続き呼びかけていきます。

併せて、陽性になった場合のオンライン登録や市販の検査キットによる自己検査など、医療機関の負担を軽減する取り組みをお願いしてまいります。

新型コロナは、季節性インフルエンザに近い感染症となり、日常の病気になる段階が近づいています。政府は、感染症法上の位置づけの見直しに向けた検討を始めていて、行動制限や医療費負担などの具体的な議論が本格化しています。松本市としても、政府の動向を注視しながら、社会生活や経済活動を自由に展開できる環境を、市民の皆さんと共に整えていきます。

今月1日、松本市は、新たにパートナーシップ宣誓制度を制定した長野市との間で、連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、制度を利用するカップルが松本市と長野市の間で転居する際の手続きが簡略化されます。同時に、2つの中核市が手を携えることで、性の多様性に関する理解が長野県内に広がっていくことが期待されます。

性的にマイノリティであるがゆえに法律上の婚姻を届け出ることができない関係を自治体が認める制度は、長野県でも制定に向けた検討が行われています。多様な性の在り方が認められ、誰もが思い合う相手と安心して生活できる、自由で開放的な社会の実現に向けて歩みを進めてまいります。

先月15日に始まった「まつもとマイナポイント」は、今月1日から3つの決済サービスが整い、今週はじめの時点でポイントを申し込まれた方は、2万人を超えました。これに伴って、マイナンバーカードの申請者も増加し、今月4日時点で松本市の申請率は、63.4%に達しました。

松本市は、市民の皆様がマイナンバーカードを気軽に安心して申請していただけるよう、出張申請や企業一括申請のほか、携帯事業者とも連携して受付を行っています。

「まつもとマイナポイント」の対象となる、マイナンバーカードの申請は、今月末までとなります。この機会に更に大勢の方々にマイナンバーカードと松本市独自のポイントを取得していただけるよう、早期の申請を呼びかけてまいります。

「松本城三の丸エリアビジョン」に基づいて取り組まれる民間主体の事業や活動を支援する、「三の丸エリアプラットフォーム」が今週設立されました。

これから新しい取組みに挑戦しようとする事業会員の皆さん、若い世代から年配の方々まで、地元で住み続けている人から松本に移り住んできた人まで、多士済々の皆さんから、それぞれの界隈の魅力や意気込みを聞くことができました。

来年3月には、6つの界隈において、事業会員が提案したプロジェクトの支援内容を審査の上で決定し、来年度から段階的に社会実験の取組みが始まります。

松本城三の丸エリアにおいては、来年春に、これまで内環状北線と呼ばれてきた「外堀大通り」が完成し、このうちの2車線分に大きな歩行空間が創出されていきます。さらに、来年秋に基幹博物館がオープンし、その先には松本城・南／西外堀の復元を目指しています。

これらの公共事業と「三の丸エリアプラットフォーム」に参画する民間主体のプロジェクトが、互いに連動して相乗効果を発揮し、松本城周辺が賑わいと活力を生み出すエリアとしてシンカし続けていくことを期待します。

今年も残すところ、半月となりました。2022年は、コロナからの回復途上に、ウクライナ侵攻が勃発し、国際関係とエネルギー体制に大きな転機が訪れた年として記憶されるでしょう。日本にとっては、

30年余り続いたデフレ基調がインフレ基調に転換し、経済の歯車が大きく回り始めた年と捉えることができます。

年が明けますと、松本あめ市が3年ぶりに開催される予定です。1月8日には、成人年齢が18歳に引き下げられたことを受けて、これまでの成人式を「ハタチの記念式典」と名称を改めて開催します。松本の経済が本格的な上昇気流に乗り、若い世代とともに前に進むスピードが加速する年になることを期待します。

結びに、議員の皆様には、時節柄、健康にご留意いただき、よき新年を迎えられることを祈念申し上げ、閉会のあいさつといたします。ありがとうございました。

(以 上)